

## 米国 税還付とローン金利低下により加速（08年6月消費者信用残高）

発表日：2008年8月12日（火）

～08年後半は緩やかに加速の公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

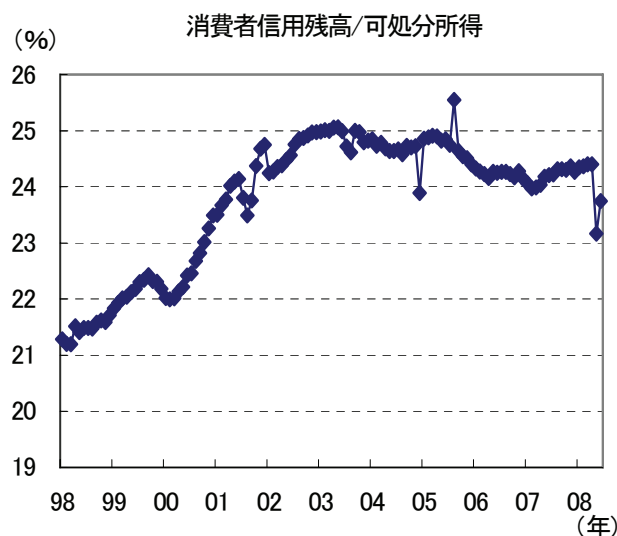
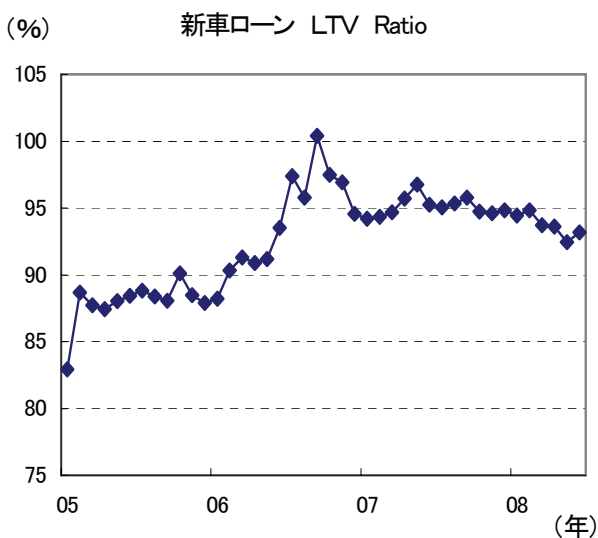
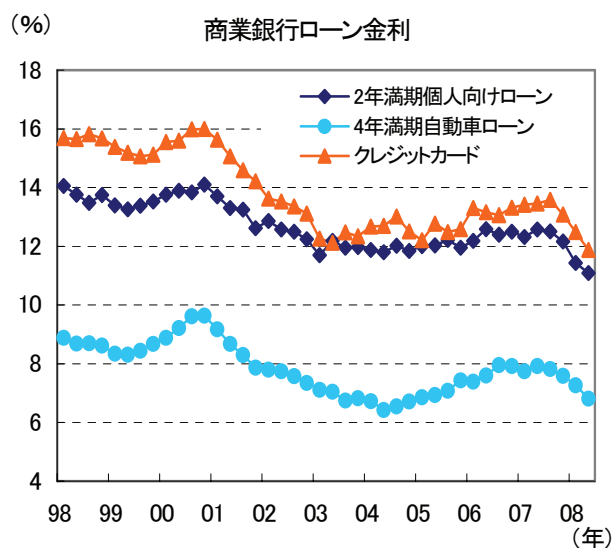
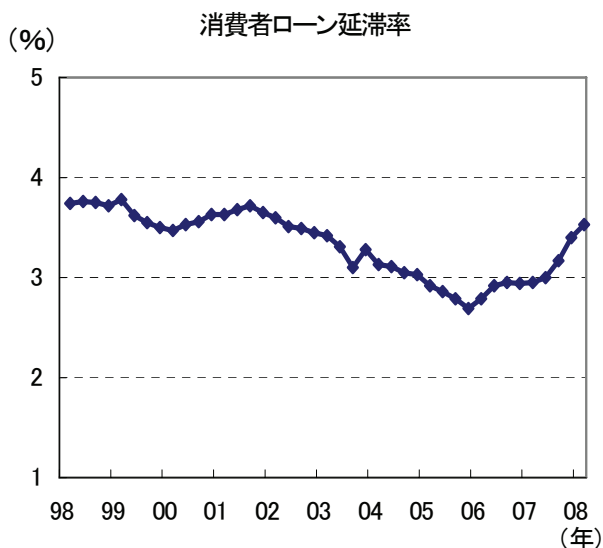
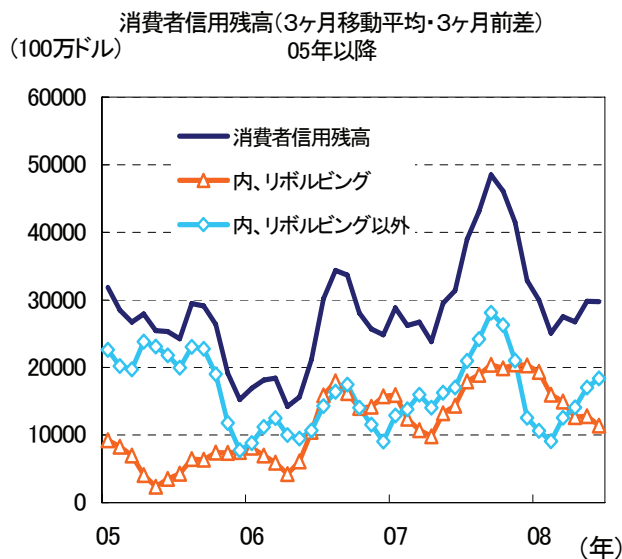
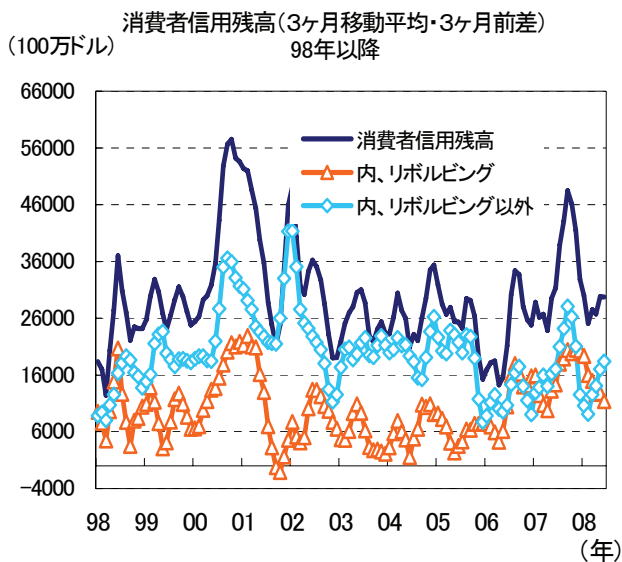
近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

- 08年6月の消費者信用残高（季節調整済）は2兆5863億ドル、前月差+143億ドル（前月比年率+6.7%）と、07年11月以来の高い伸びとなった。3ヵ月移動平均・3ヵ月前差で見ると、消費者マインドの悪化と融資基準の厳格化によって07年10月以降減速基調が続いてきたが、ローン金利の低下と4月28日に開始された所得税の還付による消費押上げの影響により、3月から足元にかけて緩やかに加速している。
- 内訳はリボルビング（クレジットカード等）が前月差+55億ドル（前月比年率+6.8%）と前月同+61億ドル（同+7.6%）から減速、3ヵ月移動平均・3ヵ月前差で見ると、07年11月以降減速が続いている。4月28日に開始された所得税減税の効果で5～6月にかけてクレジットカードでの支払いが増加したとみられるが、エネルギー価格上昇による消費者マインド悪化と金融機関の融資基準厳格化により減速基調が続いている。リボルビング以外（自動車ローン、モービルホームローン、教育ローン等）は同+88億ドル（同+6.6%）と前月同+20億ドル（同+1.5%）から大幅に加速、3ヵ月移動平均、3ヵ月前差では3月から上昇基調が続いている。金融機関の融資基準が厳格化されるもと、ローン金利の低下により信用力の高い消費者を中心に借入れが行われているものとみられる。
- 08年7月以降は所得税減税効果の剥落により消費の減速が予想され、ローンの利用も限定されることで、信用残高の増加ペースは8～9月にかけて鈍化するものとみられる。その後年末にかけて、金融機関のバランスシート調整はピークを過ぎると予想され、融資基準の厳格化の緩和が期待されることから、信用力の高い消費者を中心に貸出は緩やかに増加し、信用残高の増加ペースは緩やかに加速するものとみられる。

	消費者信用残高(10億ドル)			リボルビング(10億ドル)		リボルビング以外(10億ドル)	
		前月差	前月比年率(%)		前月差		前月差
07/08	2486.9	21.4	10.4	917.2	7.9	1569.7	13.5
07/09	2499.6	12.7	6.1	921.6	4.4	1577.9	8.2
07/10	2504.8	5.3	2.5	929.3	7.7	1575.5	▲ 2.4
07/11	2522.0	17.1	8.2	939.0	9.7	1583.0	7.5
07/12	2523.6	1.6	0.8	940.6	1.6	1583.0	0.1
08/01	2535.6	11.9	5.7	946.5	5.9	1589.0	6.0
08/02	2542.4	6.9	3.3	950.7	4.2	1591.7	2.7
08/03	2555.0	12.6	5.9	956.6	5.8	1598.5	6.8
08/04	2564.0	8.9	4.2	956.8	0.2	1607.2	8.7
08/05	2572.0	8.1	3.8	962.9	6.1	1609.1	2.0
08/06	2586.3	14.3	6.7	968.4	5.5	1618.0	8.8

（出所）FRB（連邦準備制度理事会）



(出所)FRB(連邦準備制度理事会)